

忘れられない日本の留学生活

慶北大学校

パク・イエリン

学生時代から目指して来た交換留学が終わりに近づいています。お茶の水大学での留学生活が思ったよりずっと楽しかっただけに、惜しい気持ちばかりです。しかし、この経験が私の人生で大切な経験になると思って、最後まで楽しい気持ちで留学生活を終えようと思います。それでは、お茶の水大学の交換留学生として感じたこと、忘れられない思い出を発表したいと思います。

お茶の水大学は留学生のためのプログラムが調えていました。留学生の科目を受けながら日本語の実力はもちろん、日本文化に対する理解を高めることができました。日本の伝統を体験できる教室も行われましたが、特に浴衣教室に参加して日本の伝統衣装を直接着れて意味深かったです。また、様々な交流会でお茶の水の生徒たちに会い、一緒にかき氷やたこ焼きを作って楽しい時間を過ごせました。このようなプログラムのおかげで、交換留学生として日本について全般的なことを学んで経験することができました。

学校生活と学業も大事ですが、暇暇に日本のあちこちを旅行して母国では感じられない経験をたくさんしようとしてきました。色々な日本の食べ物を食べてみたり、お祭りで花火や神輿の行進をみたり、神社の静かな雰囲気を感じたり、観光客が多くない所で現地人の生活を垣間見たり、名古屋や札幌で東京とは違う都市の風景を感じたりしました。留学生活の間、このエッセイには全部盛り込めないほど多くの所に行ってきて、忘れられない思い出を作りました。



外国での生活は初めてだったので、適応できるか心配も多かったです。しかし、今振り返ってみると、心配とは違って、毎日楽しく幸せな時間を過ごすことができました。これは私一人ではなく、私の周りの多くの人々と一緒にいたからこそ可能だったと思います。萩原先生をはじめ、全てのお茶大の先生方、留学生活にすんなり慣れるように手伝ってくださってありがとうございました。チューター菜月さんをはじめ、お茶大の学生たち、一緒に遊びながら日本の文化に接することができるように手伝ってくれて、いつも気を使ってくれてありがとうございました。韓国人留学生をはじめ、全ての交換留学生たち、同じ留学生として助けが必要な時に力になってくれてありがたかったし、多様な友達を作って付き合えて楽しかったです。短い時間でしたが日本で出会った大切な縁と経験を心にだきしめながら前に進んでいきます。皆さん、心からありがとうございます。

